

至徳元年	6	漢中王瑊	隴西公瑊為銀青光祿大夫漢中王梁州都督 / 漢中郡太守山南西道采防防禦使
			置山南西道防禦守捉使
至徳2年		漢中王瑊	
乾元元年	?	漢中王瑊	→7.特進殿中監/太常卿として使回乾
	?	李栖筠	→山南防禦觀察使
乾元2年	?	李栖筠	→貶太子中允.坐李峴
	?	李希言	禮部侍郎→
乾元3年	?	李希言	→?
	?	李揖	同州刺史?→ 卒?
上元2年	?	高武光	右羽林將軍知軍事→梁州刺史山西觀察使
元年	?	高武光	→?
	?	李勉	李國貞行軍司馬→
	建辰	李勉	奴刺寇梁州, 觀察使李勉棄城走→貶大理少卿 ◎文官出身でろくに軍備もない勉は敗走しましたが、処罰はされていません。
	建辰	臧希讓	鄆州刺史河西臧希讓為梁州刺史山南西道節度使
	?		劍南節度使領通、巴、蓬、渠四州, 尋以四州隸山南西道
寶應2年		臧希讓	→?
	?		升山南西道防禦守捉使為節度使, 尋降為觀察使, 領梁洋集壁文通巴興鳳利開渠蓬十三州, 治梁州
廣徳2年		張獻誠	汴州節度使→開府儀同三司御史中丞山西觀察使 ◎史朝義麾下で河南汴州を支配していた張獻誠はいち早く帰順しました。そして清運の要地汴州を唐朝に献上し山西節度を与えられました。獻誠は名將守珪の子です。
	11	張獻誠	山南西道節度使張獻誠擒南山群盜高玉, 獻之, 餘盜皆平 ◎討伐の主役は李抱玉ですが、最終的に追いつめられた玉を捕らえたのが獻誠です。
永泰元年	1	張獻誠	山南節度使張獻誠加檢校工部尚書
大曆元年	2	張獻誠	◎宰相杜鴻漸は劍南で反乱を起こした崔旰を征討するため山南西道劍南東川等道副元帥仍充劍南西川節度使として派遣されて来ました。主力は山西軍です。
	2	張獻誠	山南西道節度使梁州刺史張獻誠兼充劍南東川節度觀察使
	3	張獻誠	◎張獻誠は崔旰と特州で戦い、敗走しました。文官の副元帥杜鴻漸はなすすべがなく、旰に西川を与えひたすら慰撫して唐朝に従うように作りました。
大曆2年		張獻誠	
大曆3年	4	張獻誠	山南西道節度使、鄆國公張獻誠為開府儀同三司檢校戸部尚書。以疾辭位也 ◎敗戦により面子を失った獻誠は引退を望み、せめて弟に継承させることを望みました。
	4	張獻恭	右羽林將軍張獻恭為梁州刺史兼御史中丞充山南西道觀察使。兄獻誠所薦也
大曆4年		張獻恭	
大曆5年	1	張獻恭 李抱玉	鳳翔節度使李抱玉判梁州事充山南西道節度使 / 河西隴右山南西道副元帥 ◎専権を極める官官魚朝恩を排除するため、代宗皇帝と宰相元載は策して、朝恩配下の皇甫温を懐柔して鳳翔節度使とし、代わりに抱玉を山西副元帥に移しました。ために張獻恭は解任されたわけではなく、副元帥下に入ったという形式でしょう。
大曆6年	2	張獻恭 李抱玉	河西隴右山南西道副元帥兼澤潞山南西道節度使李抱玉李抱玉辭山南西道副元帥 ◎魚朝恩誅殺に成功したため、鳳翔皇甫温は陝隴に戻り、抱玉も鳳翔に戻りました。
大曆7年		張獻恭	
大曆8年		張獻恭	
大曆9年		張獻恭	
大曆10年		張獻恭	
大曆11年		張獻恭	
大曆12年	11	張獻恭	山南西道節度使張獻恭及吐蕃戰於岷州, 敗之。
大曆13年		張獻恭	
大曆14年	10	張獻恭	→? ◎西川崔寧が入朝した隙に吐蕃は入寇しました。唐朝は朱泚に幽州兵・神策軍・山西・東川兵をつけて派遣し大破しました。
	11	賈耽	鴻臚卿賈耽為兼御史大夫梁州刺史山南西道節度觀察使
建中元年	?	賈耽	升山南西道觀察使為節度使
建中2年	8	賈耽	◎李希烈は西川、東川、山西、荆南、淮南を率いて山東梁崇義を伐ちました。
建中3年	11	賈耽	山南西道節度使賈耽檢校工部尚書兼襄州刺史御史大夫山南東道節度使
	11	嚴震	開府儀同三司試秘書監使持節鳳州刺史御史中丞興鳳都回隸使山西節度副使馮翊縣侯嚴震為兼御史大夫梁州刺史山南西道節度使
建中4年		嚴震	
興元元年	2	嚴震	◎車駕幸梁州。朱泚に京師を逐われた徳宗皇帝は奉天城に逃避し、さらに李懷光への不信から成都へ逃避しようとしてひとまず山西梁州に向いました。 ◎徳宗は山西十五州が貧地であるので、西川へ向かおうとしましたが、嚴震は力を尽くして聚斂し供給したため關内に近い梁州に留まることにしました。
	2	嚴震	→加檢校戸部尚書
	6	嚴震	山南西道節度使兼興元尹增領果州
	6	嚴震	加興元尹嚴震檢校右僕射, 賜實封一百戸
	7	嚴震	◎徳宗皇帝は鳳翔を経て京師に戻りました。
貞元元年	2.11	嚴震	入朝
貞元2年		嚴震	
貞元3年		嚴震	
貞元4年		嚴震	
貞元5年		嚴震	

貞元6年		嚴震	
貞元7年		嚴震	
貞元8年	11	嚴震	◎吐蕃を芳州黒水堡に破りました。
貞元9年		嚴震	
貞元10年		嚴震	
貞元11年		嚴震	
貞元12年	1	嚴震	加山南西道節度支管田觀察檢校左僕射兼興元尹御史大夫嚴震同平章事
貞元13年		嚴震	
貞元14年		嚴震	
貞元15年	4/6	嚴震	山南西道節度使嚴震薨
	4/7	嚴震	興州刺史興元都虞候嚴震為興元尹兼御史大夫山南西道節度支管田觀察等使 ◎嚴震の甥は嚴誥で姦悪でしたが有能で、徳宗の興元在位時その供給に活躍し信頼を得ていました。 そして震が重病となり推薦したため継承することとなりました。
貞元16年	10	嚴震	◎震は監軍の依頼をうけ誣奏し、流人通州別駕崔河圖を殺害しました。
貞元17年		嚴震	
貞元18年		嚴震	→加檢校禮部尚書
貞元19年		嚴震	
貞元20年		嚴震	
永貞元年		嚴震	
			西川章阜が卒し、行軍司馬の劉闢が自立しました。憲宗は闢を西川節度に補しましたが、闢は増長して東川まで占有しようとしたため、高崇文に神策軍を率いて征討させることになりました。
元和元年	1	嚴震	◎左神策行營節度使高崇文は李元奕や山南西道節度使嚴震を率いて征討します。 →加檢校左僕射
	2	嚴震	◎嚴震は劍州を陥し、刺史文徳昭を斬りました。
	3	嚴震	◎嚴震は梓州を回収しました。劉闢は東川梓州を陥し、節度使李康を捕らえていたのです。
	6	嚴震	◎嚴震は關軍を石碑谷に破りました。
	9/10	嚴震	山南西道節度使嚴震為梓州刺史劍南東川節度使 ◎西川劉闢が誅され、東川高崇文は西川に移り、震は東川に移されました。山西は唐朝に回収されました。
	9	柳晟	將作監柳晟檢校工部尚書御史大夫兼興元尹充山南西道節度使
元和2年		柳晟	
元和3年		柳晟	
	3	柳晟	→入迴鶻冊立使 ◎中丞盧坦は前山南西道節度使柳晟が違法に進奉したことを弾劾しましたが処罰はされませんでした。
	2	裴玢	鄜坊節度使御史大夫裴玢為興元尹山南西道節度使
元和4年		裴玢	
元和5年		裴玢	
元和6年		裴玢	
元和7年	2	裴玢	山南西道節度使裴玢卒
	1	趙宗儒	刑部尚書趙宗儒檢校吏部尚書兼興元尹山南西道節度使
元和8年		趙宗儒	
元和9年	3	趙宗儒	山南西道節度使趙宗儒為御史大夫
	3	鄭餘慶	太子少傅鄭餘慶檢校右僕射兼興元尹山南西道節度使
元和10年		鄭餘慶	
元和11年		鄭餘慶	→太子少師
	10	權德輿	刑部尚書權德輿檢校吏部尚書兼興元尹充山南西道節度使扶風郡公
元和12年		權德輿	
元和13年	8	權德輿	前山南西道節度使權德輿卒
	8	崔從	尚書右丞崔從為兼御史大夫興元尹山南西道節度使
元和14年		崔從	
元和15年		崔從	
長慶元年	10	崔從	山南西道節度使崔從為尚書左丞
	10	烏重胤	横海軍節度使烏重胤為檢校司徒御史大夫興元尹充山南西道節度使 ◎成徳で王廷湊、幽州で朱克融が自立し、唐朝は性急に烏重胤に征討を命じましたが、重胤は賊の勢力が強いことを指摘し、慎重に事を運ぶことを主張して左遷されました。
長慶2年		烏重胤	→檢校司徒天平節度使 ◎積極征討派の社叔良が大敗したため、王廷湊対策に戻されました。
	10閏	韋綬	禮部尚書韋綬為檢校戸部尚書兼興元尹山南西道節度使 ◎穆宗皇帝の師傅であった綬は赴任に際して種々の利得をねだりました。
長慶3年	5	韋綬	山南西道奏移成州于寶井堡
	8	韋綬	興元節度使韋綬卒
	8	裴度	左僕射裴度為司空山南西道節度使、不兼平章事 ◎牛黨李逢吉との政争に敗れた裴度は使相権を持たず転出させられる事になりました。
長慶4年	6	裴度	山南西道節度使司空裴度加同中書門下平章事 ◎即位した敬宗皇帝は裴度の上奏に平章事が無いに気付き付加することにしました。
寶曆元年	9	裴度	◎山西諸州が貧窮化したため、各州を減縣することにしました。
寶曆2年	2	裴度	山南西道節度觀察處置等使光祿大夫守司空同中書門下平章事兼興元尹上柱國晉國公裴度守司空同平章事復知政事 ◎李逢吉が失脚し、裴度は中央復帰しました。

	2	王涯	禮部尚書王涯檢校左僕射為山南西道節度使
太和元年		王涯	
太和2年		王涯	
太和3年	1	王涯	前山南西道節度使王涯為太常卿
	1	李絳	太常卿李絳檢校司空兼興元尹山南西道節度使
太和4年	2	李絳	興元軍亂、節度使李絳舉家被害 ◎西川杜元穎の失政により南詔が来寇し、山西軍も救援に出動し、新兵千人を急募しましたが、西川の混乱はすぐ取り解雇することになりました。しかし監軍楊叔元は解雇手当を節約したため新兵は激怒して乱しました。節度使李絳だけでなく幕僚達も被害を受けました。
	2	温造	中大夫守尚書右丞上護軍郿縣開國子食邑五百 戶賜紫金魚袋温造為檢校散騎常侍兼興元尹御史大夫充山南西道節度管 内觀察處置等使 ◎造は擢進してきた山西正規軍を使って乱を鎮圧しました。
太和5年	4	温造	山南西道節度使温造為兵部侍郎
	4	李載義	守太保同平章事李載義為守太保同平章事山南西道節度使 ◎軍乱により幽州節度使を逐われ入京した李載義は、在任中の忠誠を賞され山西節度を与えられました。
太和6年		李載義	
太和7年	6	李載義	守太保同平章事山南西道節度使李載義為守太保同平章事太原尹北都留守河東節度使 ◎北邊の要地河東節度に李載義を移し、反抗的な幽州楊志誠を牽制するとともに、回乾に備えました。
	6	李宗閔	中書侍郎平章事李宗閔檢校禮部尚書同平章事兼興元尹山南西道節度使 ◎以降山西は解任された宰相の異動先によりくなります。
太和8年	9/10	李宗閔	山南西道節度使檢校禮部尚書同平章事上柱國襄武縣開國侯食邑一千戶李宗閔可中書侍郎同中書門下平章事
	9/10	李德裕	銀青光祿大夫守中書侍郎平章事李德裕檢校兵部尚書同平章事興元尹充山南西道節度使 新除興元節度使李德裕為兵部尚書 ◎宰相を解任された李德裕は山西への赴任を拒否し、兵部尚書に留まりましたが、まもなく浙西へ平章事なしで出されます。
	11	王源中	禮部尚書王源中檢校戸部尚書充山南西道節度使
太和9年	10	王源中	前山南西道節度使王源中為刑部尚書
	9	李固言	門下侍郎同平章事李固言為興元尹山南西道節度使 ◎鄭注の鳳翔節度に反対した固言は宰相を解任されました。
開成元年	4	李固言	山南西道節度使檢校兵部尚書李固言門下侍郎同中書門下平章事 ○甘露の変で李訓・鄭注が殺され、逐われていた固言が復讐することになりました。
	4	令狐楚	左僕射諸道鹽鐵轉運使令狐楚檢校左僕射為山南西道節度使
開成2年	11	令狐楚	興元節度使令狐楚卒
	11	鄭澣	刑部尚書鄭澣為檢校戸部尚書御史大夫山南西道節度使
開成3年		鄭澣	
開成4年	閏	鄭澣	興元節度使鄭澣→戸部尚書→卒
	2	歸融	吏部侍郎歸融檢校禮部尚書御史大夫充山南西道節度使
開成5年		歸融	
會昌元年	?	歸融	→東川節度使
	?	崔瑄	檢校戸部尚書東都留守→銀青光祿大夫檢校吏部尚書御史大夫興元尹山西節度使上柱國
會昌2年		崔瑄	
會昌3年	?	崔瑄	→卒
	?	孫簡	尚書左丞孫簡→太中大夫檢校戸部尚書山西節度使
會昌4年	?	孫簡	→太常卿
	4	王起	左僕射王起同平章事充山南西道節度使 ◎宰相未経験の文官が使相になる初例です。
會昌5年		王起	
會昌6年		王起	4.山南西道節度使王起加檢校司空
大中元年	?	王起	→卒
大中2年	?	鄭涯	?
大中3年	閏	鄭涯	山南西道節度使鄭涯奏取扶州
	?	鄭涯	→?
	1?	封敖	太常卿封敖檢校兵部尚書御史大夫興元尹山南西道節度使
大中4年		封敖	
大中5年		封敖	
大中6年		封敖	
大中7年		封敖	
大中8年	?	封敖	→左常侍?
	?	蔣係	尚書左丞→興元節度使
大中9年		蔣係	
大中10年		蔣係	
大中11年	10	蔣係	山南西道節度使中散大夫檢校禮部尚書興元尹上柱國賜紫金魚袋蔣係權知刑部尚書
	9	盧鈞	銀青光祿大夫檢校司空兼太子太師上柱國范陽郡開國公食邑二千戶盧鈞為檢校司空同中書門下平章事興元尹充山南西道節度使
大中12年		盧鈞	
大中13年	?	盧鈞	→檢校司徒東都留守
	?	柳仲郢	金紫光祿大夫兵部尚書河東男食邑三百 戶→興元尹山西節度使
咸通元年	?	柳仲郢	→太子賓客分司東都

	11	苗格	→檢校工部尚書御史大夫山西節度使
咸通2年		苗格	
咸通3年	?	苗格	→?
	9	李從廉	戸部侍郎李暉/從海銀青光祿大夫檢校工部尚書兼興元尹山南西道節度使
咸通4年		李從廉	
咸通5年		李從廉	→卒?
	2	蕭鄴	前西川節度使蕭鄴左遷山南西道觀察使 ◎對南詔政策を誤り侵攻を招いた責任を取られました。
咸通6年		蕭鄴	
咸通7年		蕭鄴	
咸通8年		蕭鄴	→戸部尚書
咸通9年		李當	宣歙觀察使→山西節度使
咸通10年		李當	
咸通11年	6	李當	◎南詔の侵攻防衛に山西軍が派遣されました。
	?	李當	→吏部尚書/侍郎?
咸通12年	?	王宗	檢校司空金吾大將軍左街使→興元節度使
咸通13年		王宗	
咸通14年		王宗	
乾符元年		王宗	→?
	12		◎南詔が侵攻し、河西、河東、山西、東川兵が救援しました。
乾符2年	?	牛勣	刑部尚書→檢校兵部尚書興元尹山西節度使
乾符3年		牛勣	
乾符4年	?	牛勣	→? ◎宦官の進奉要求にこたえず解任
	?	吳行魯	神策將→興元尹山西節度使
乾符5年		吳行魯	
乾符6年	?	吳行魯	→?
	?	鄭延休	河陽節度使?→山西節度使
廣明元年	?	鄭延休	→?
	4	牛勣/勣	神策大將軍牛勣為山南西道節度使
	12		黃巢に京師を逐われて僖宗皇帝は興元に逃亡し、成都に向かいました。 興元行在[廣明1.12~中和1.1]
中和元年	1	牛勣	加牛勣同平章事
中和2年	12	牛勣	→奔龍州西山
中和3年	12	鹿晏弘	忠武大將鹿晏弘陷興元、逐節度使牛勣、自為留後 ◎宦官楊復光に率いられ黃巢と戦っていた忠武軍將達は、復光の没後晏弘に率いられて離脱し、流賊となって放浪し山西に辿り着き占拠しました。
中和4年	1	鹿晏弘	→留後/山南西道興元節度管内觀察處置使興元尹
	9	鹿晏弘	◎節度使となった鹿晏弘は王建や韓建等の幹部達の支持を得られず、やがて禁軍の征討を受け、興元を棄てて、山東を荒らし、故郷の許州に戻って占拠しました。
光啓元年	12	石君涉	宦官田令孜の失政により京師に河東節度李克用軍が迫り、令孜は僖宗皇帝を擁して興元に走りました。 興元行在[光啓2.3~3.3]
		石君涉	
光啓2年	1		田令孜は引退し兄の西川陳敬瑄の下に逃げ、楊復恭が僖宗を擁立することになりました。
	3	石君涉	◎興元節度使石君涉は僖宗・田令孜が興元に来るのを拒みましたが、禁軍に敗れて邠軍朱玫の下に奔りました。山南西道監軍嚴遵美は僖宗を興元に迎え入れました。
	3	盧渥	尚書左丞盧渥為戸部尚書充山南西道留後とします。嚴遵美は内樞密使になりました。→檢校司空太常卿
	4		邠軍朱玫・鳳翔李昌符は嗣襄王煇嗣襄王煇を擁立して皇帝とします。天下の藩鎮の大半はこれに従います。
	6	楊守亮	金商節度使楊守亮檢校司徒兼興元尹山南西道節度等使 ◎守亮は宦官楊復恭の養子です。
光啓3年	3	楊守亮	僖宗皇帝は還京、まず鳳翔へ。
文德元年	12	楊守亮	◎西川陳敬瑄を征討するため、宰相韋昭度が行營招討使となり、楊守亮が副となりました。
龍紀元年		楊守亮	?同平章事
大順元年		楊守亮	
大順2年	10	楊守亮	宦官楊復恭は政争に敗れて、養子達の支配する山西に奔りました。
景福元年	1	楊守亮	鳳翔李茂貞は宦官楊復恭・山西楊守亮を伐つことを唐朝に求めましたが、茂貞の勢力拡大を懼れる唐朝は認めません。しかし茂貞は勝手に討伐を始めました。
	6	楊守亮	鳳翔李茂貞陷鳳州、興州、洋州
	8	楊守亮	李茂貞拔興元、楊復恭、楊守亮、楊守信、楊守貞、楊守忠、滿存奔閬州 ◎茂貞は山西の大部分を領有し、配下に与えました。守亮等はまもなく閬州も棄て、河東へ奔りましたが途中で捕らえられ殺されました。
	8	李繼密①	李茂貞子繼密權知興元府事
景福2年	1/7	李繼密① 李茂貞/①	◎宰相徐彦若罷を鳳翔離右節度使とし、鳳翔離右節度使檢校太尉中書令鳳翔尹上柱國岐王食邑四千五百戸李茂貞を興元尹山南西道兼武定節度使に移しましたが、茂貞は当然受けません。実現する実力のない唐朝はなすすべはありません。10月歸めました。
	11	李茂貞①	鳳翔節度使李茂貞守中書令進封秦王兼興元尹山南西道節度使
乾寧元年		李繼密②	

乾寧2年		李繼密②	
	?	李茂莊①	天雄節度使平章事? →
乾寧3年	3	李茂莊①	
	5	李茂貞②	鳳翔節度使 → 興元節度使 ◎不受命
乾寧4年	3	李茂莊②	更名感義軍曰昭武, 治利州, 以前靜難節度使蘇文建為節度使
光化元年	?	李茂莊②	開府儀同三司檢校太傅兼侍中興元尹山西節度使 → 卒?
	5/6	李繼密③	武定節度使李繼密為山南西道節度使
光化2年		李繼密③	
光化3年	?	李繼密③	巴州置防禦使
天復元年		李繼密③	置利州節度使 乾寧2.11 王建陷利州, 刺史李繼順死之
天復2年	8	李繼密③	西川王建は興元を陥し、山南西道節度使李繼密 / 王萬弘は降り成都に拉致されました ◎西川王建は朱全忠と連合して鳳翔李茂貞を攻め、領域を侵食しました。
	8	王宗濂	王建下前東川節度使平章事王宗濂為山南西道節度使 ◎王建は宗濂が人望があるため猜疑し、讒言を受け入れて殺しました。
	8	王宗質	王建以指揮使王宗質權興元留後
天復3年	7	王宗質	山南西道留後王宗質為節度使
天祐元年		王宗質	
天祐2年		王宗質	8.王建遣前山南西道節度使王宗質等將兵, 擊昭信節度使馮行襲于金州 ◎「前」ということは交代していることになります。
	?		山南西道節度使罷領巴渠開三州 升巴州防禦使為巴渠開三州回紇觀察使 ◎王建更節朗姓名曰王宗朗, 補金州觀察使, 割渠州、巴州、開州以隸之。
天祐3年			利州節度使增領閬州榮州蓬州六州號利閬節度使 置興文節度使領興文集壁四州治興州
天祐4年		王宗緒	

乾元2年			置興、鳳二州都團練守捉使，治鳳州。
乾元3年			
上元2年			
元年			
寶應2年			升山南西道防禦守捉使為節度使，尋降為觀察使，領梁洋集璧文通巴興鳳利開渠蓬十三州，治梁州。興鳳は含まれます。
廣德2年			
永泰元年			
大曆元年			
大曆2年			
大曆3年			
大曆4年	?	嚴震	鳳州刺史侍御史 → 興鳳團練使
大曆5年		嚴震	
大曆6年		嚴震	
大曆7年		嚴震	
大曆8年		嚴震	
大曆9年		嚴震	
大曆10年		嚴震	
大曆11年		嚴震	
大曆12年		嚴震	
大曆13年		嚴震	
大曆14年		嚴震	
建中元年		嚴震	
建中2年		嚴震	
建中3年	11	嚴震	開府儀同三司試秘書監使持節鳳州刺史御史中丞興鳳都團練使山西節度副使馮翊縣侯 → 御史大夫山西節度使
建中4年			
興元元年			
貞元元年			
貞元2年			
貞元3年			
貞元4年			
貞元5年			
貞元6年			
貞元7年			
貞元8年			
貞元9年			
貞元10年			
貞元11年			
貞元12年			
貞元13年			
貞元14年			
貞元15年			
貞元16年			
貞元17年			
貞元18年			
貞元19年			
貞元20年			
永貞元年			
元和元年			
元和2年			
元和3年			
元和4年			
元和5年			
元和6年			
元和7年			
元和8年			
元和9年			
元和10年			
元和11年			

元和12年		
元和13年		
元和14年		
元和15年		
長慶元年		
長慶2年		
長慶3年		
長慶4年		
寶曆元年		
寶曆2年		
太和元年		
太和2年		
太和3年		
太和4年		
太和5年		
太和6年		
太和7年		
太和8年		
太和9年		
開成元年		
開成2年		
開成3年		
開成4年		
開成5年		
會昌元年		
會昌2年		
會昌3年		
會昌4年		
會昌5年		
會昌6年		
大中元年		
大中2年		
大中3年		
大中4年		
大中5年		
大中6年		
大中7年		
大中8年		
大中9年		
大中10年		
大中11年		
大中12年		
大中13年		
咸通元年		
咸通2年		
咸通3年		
咸通4年		
咸通5年		
咸通6年		
咸通7年		
咸通8年		
咸通9年		
咸通10年		
咸通11年		
咸通12年		
咸通13年		
咸通14年		

乾符元年			
乾符2年			
乾符3年			
乾符4年			
乾符5年			
乾符6年			
廣明元年			
中和元年			
中和2年			
中和3年			
中和4年			
光啓元年			升興鳳二州都團練守捉使為防禦使，治鳳州。
			◎李克用・王重榮に敗れ、朱玫に逐われ京師から遁走した僖宗皇帝と田令孜は興元に入ろうとしていました。
光啓2年	1		升興鳳二州防禦使為感義軍節度使。
	1	楊晟	置感義軍于興州鳳州，以神策指揮使楊晟為節度使，守散關 ◎僖宗は散關に入り、朱玫は散關を攻めましたが抜けずあきらめて戻りました。
	3	楊晟	◎保嬰都將李鋹等敗朱玫軍于鳳州
	7	楊晟	朱玫將王行瑜進攻興州，感義節度使楊晟棄鎮走，據文州，詔保嬰都將李鋹
	9		靜難軍將王行瑜陷興州鳳州 金吾將軍滿存與郃軍戰，破之，復取興州，進守萬仞寨
	10		神策行營先鋒使滿存克興州鳳州。 感義軍節度使楊晟陷文州。
	12	滿存	諸軍拔鳳州，以滿存為鳳州防禦使。
光啓3年		滿存	
文德元年		滿存	升鳳州為節度府，割興州、利州隸之，以鳳州防禦使滿存為節度使、同平章事。
文德元年		滿存	感義軍節度增領利州。
龍紀元年		滿存	
大順元年		滿存	
大順2年		滿存	
景福元年	6	滿存	鳳翔隴右節度使李茂貞陷鳳州，感義軍節度使滿存奔於興元，茂貞又取興州、洋州，皆表其子弟鎮之
	8		李茂貞攻拔興元，楊復恭、楊守亮、楊守信、楊守貞、楊守忠、滿存奔閬州
景福2年			
乾寧元年			
乾寧2年			
乾寧3年	1		尚書右丞崔澤為鳳州刺史
乾寧4年	4	蘇文建	更名感義軍曰昭武，治利州，以前靜難節度使蘇文建為節度使。
乾寧4年			更感義軍節度曰昭武軍節度。
光化元年			
光化2年			
光化3年			
天復元年			
天復2年	6		全忠遺其將孔勛出散關攻鳳州，拔之
天復3年			
天祐元年			
天祐2年			
天祐3年			
天祐4年			



光啓元年			置武定軍節度使，治洋州。
光啓2年			
光啓3年	1	李茂貞	鳳翔都頭李茂貞為檢校尚書左僕射、洋州刺史、武定軍節度使 ◎僖宗皇帝に從い、朱玫との戦いの恩賞として与えられました。
	6	李茂貞	武定軍節度使李茂貞為隴州招討使 ◎洋州には赴任せず僖宗皇帝に從い鳳翔にいたようです。鳳翔李昌符と禁軍が争い、昌符が隴州に敗走したため征討を命ぜられました。
	7	李茂貞	武定軍節度使檢校尚書左僕射兼洋州刺史御史大夫上柱國隴西郡公食邑一千五百戸李茂貞檢校司空同平章事兼鳳翔尹鳳翔隴右節度等使李昌符征討の功績として鳳翔が与えられました。
文徳元年		楊守忠	武定節度使楊守忠[宦官楊復恭假子]
龍紀元年		楊守忠	
大順元年		楊守忠	
大順2年		楊守忠	
		楊守忠	武定軍節度増領階扶二州。
景福元年	3	楊守忠	武定軍節度使楊守忠、龍劍節度使楊守貞會楊守厚兵寇梓州
	4		西川將李簡遣擊守忠于鐘陽，斬獲三千餘人
	6		鳳翔隴右節度使李茂貞陷鳳州，感義軍節度使滿存奔於興元，遂陷興州、洋州
			武定軍節度増領閬果二州。是年，以閬州隸龍劍節度。
景福2年	1	李茂貞	鳳翔李茂貞為山南西道兼武定節度使 不受命
	?	李繼密	
乾寧元年		李繼密	
乾寧2年		李繼密	
乾寧3年		李繼密	
乾寧4年		李繼密	
光化元年	6	李繼密	武定節度使李繼密為山南西道節度使
	?	李繼顔	
	?	李思敬	
			葭壁二州隸武定軍節度。
光化2年		李思敬	
光化3年		李思敬	
天復元年		李思敬	
天復2年	9	李思敬	武定節度使李/拓拔思敬以洋州降王建 ◎西川王建は朱全忠と運合して鳳翔李茂貞を攻め、領域を侵食しました。
	9	李茂貞	李茂貞為鳳翔、靜難、武定、昭武四鎮節度使
天復3年			
天祐元年	?	馮行襲	領洋州節度使
天祐2年		王宗綰	武定節度使王宗綰
天祐3年			
天祐4年			

乾寧元年			
乾寧2年	11	李繼順	雅州刺史王宗侃攻撥利州，執刺史李繼順，斬之
乾寧3年	1		尚書右丞崔澤為鳳州刺史
乾寧4年	4	蘇文建	更名感義軍曰昭武，治利州，以前靜難節度使平章事蘇文建為節度使
			更感義軍節度曰昭武軍節度。
光化元年			
光化2年			
光化3年			
天復元年			
天復2年	2	李繼忠	王建陷利州，昭武軍節度使李繼忠奔於鳳翔 ◎西川王建は朱全忠と連合して鳳翔李茂貞を攻め、領域を侵食しました。
	2	王宗偉	王建以劍州刺史王宗偉為利州制置使 ◎王建降団練使
	9	李茂貞/	李茂貞為鳳翔、靜難、武定、昭武四鎮節度使
天復2年			昭武軍節度罷領利州。
天復3年			置利州節度使。
天祐元年			
天祐2年			
天祐3年			利州節度增領閬州榮果蓬通六州，更號利閬節度。
天祐4年			

天復元年		
天復2年	10	王建攻拔興州，以軍使王宗浩為興州刺史
天復3年		
天祐元年		
天祐2年		
天祐3年		置興文節度使，領興文兼壁四州，治興州。
天祐4年		

光化3年			巴州置防禦使。
天復元年			
天復2年			
天復3年			
天祐元年			
天祐2年	9		王建更馮行襲將全師朗姓名曰王宗朗，補金州觀察使，割渠州、巴州、開州以隸之
	12		西川將王宗朗不能守金州，焚其城邑，奔成都 ◎西川王建は馮行襲の金州を陥し、王宗朗に金州に巴渠開三州を付屬させたが、行襲は金州を奪回しました。
	9		升巴州防禦使為渠巴開三州團練觀察使。
天祐3年			
天祐4年			